



報告書

令和2年10月28日

小牧市議会議長 様

会派名 公明党小牧市議団

代表者氏名 加藤晶子

研修・調査を行いましたので、その結果を報告します。

記

1 研修日

令和2年10月26日（月）

2 研修先及び研修項目

京都府 京都市

議会の広報公聴・質問力レベルアップ講座

- ① 市民と議会の「もやい直し」：議会広報と市民参加を考える
- ② 一般質問の機能を発揮させる：政策をとらえる質問力

3 参加議員

星熊 伸作

4 研修内容

別紙のとおり

① 日時

令和2年10月26日（月） 10時00分から17時00分

② 訪問先

京都府 京都市 会場京都テルサ東館2階「視聴覚研修室」

③ 講師

龍谷大学教授 土山 希美枝

④ 研修項目

- ・ 市民と議会の「もやい直し」：議会広報と市民参加を考える
- ・ 一般質問の機能を発揮させる：政策をとらえる質問力

⑤ 研修の選定理由や目的

- ・ 議会報告会や議会広報が目指すべき方向性と政策議会の中で一般質問の機能を発揮するにはどうすれば良いのかを学ぶため
- ・ 議会の広報公聴・質問力のレベルアップを図るため

⑥ 研修項目の概要説明

内容：①市民と議会の「もやい直し」：議会広報と市民参加を考える

- ・ 市民と議会のあいだにあるもの、自治体は何のためにあるのか？自治体は、『市民が必要不可欠とする』政策・制度を整備するための機構
- ・ 「議会とはなにものか」を伝える方法
- ・ 議会だよりと議会報告会の課題について
- ・ 広報と議員と議会の関係を整理する
議員と議会のプロデュース：議員の魅力を議会の魅力とつなげる
- ・ 広報から市民参加へ
話し合いの事例やモデルの紹介
例：岐阜県御嵩町「議会住民懇談会」、沖縄県「課題共有型円卓会議」、知立市議会「市民と議員の研修会」、総社市議会「市民フォーラム」

- ② 一般質問の機能を発揮させる：政策をとらえる質問力
- ・ 政策議会の一般質問
 - ・ 一般質問という仕組みがいかされない2つの課題状況
 - ・ 一般質問の論点を構造化する
 - ・ 事実を固めるための情報収集 等

⑦ 主な質疑

質 議会報告は紙面によるものだけではなく SNS も活用して発信したかどうか

答 有効な一つ的手段であり今後、拡がりをもせるツールである。

但し SNS を扱える議員が一部しかない場合、負担が一部の方に偏る事が想定されるので、そこは慎重に決めて行うべきである。

⑧ 議員の意見

議会の傍聴案内をチラシで推進している参考事例を紹介して頂いた。その町はチラシを新聞広告として配布し、紙面のデザインは、電車の中吊り広告みたいな構成がなされ、各議員の質問項目が町政に対する政策要望として分かりやすく表記しており、各々の議員の個性が際立つような紙面になっていた。

どの議員のどの質問に興味をもち、この議員のこの質問なら一度聞いてみようという行動原理を、チラシを読まれた町民に促すようになっていたと考える。実際、このチラシを配布して以降、傍聴者数は増えたと聞いている。

わが市もこのような事例を参考にし、広報誌等の発信力で多くの市民の方に議会に関心を寄せて頂き、課題やご意見を聴き入れながら、政策提案をできるよう努力していきたい。

⑨ 研修を通じた学び

議会とはなにか、存在意義について改めて立ち止まって考えさせられた。議会の中で執り行われた成果及び過程について市民の方にとっていかに必要不可欠なものとして伝えていくかその重要性を学んだ。

一般質問の機能を発揮させる為には、論点を構造化する事が重要であり、「事実」-「分析」-「主張」で構成されている事を踏ま

えた上で、一般質問書を作成する事が非常に大切であると理解した。例えば提案型の質問をする場合、この骨組みを元に文章構成すれば、相手が納得し実施に向けた明解な回答を得られる機会が増えるのではないかと考える。

⑩考察（小牧市への反映）

早稲田大学マニフェスト研究所の発表では、議会や議員が普段どのような事が行われ、どんな仕事をしているのか知らないという方が約過半数いると報告されている。地方議会は、市民の暮らしに有益な政策・制度を構築するため、議論重ね、意思決定し執行している。

これからも市民と伴走しながら政策・制度を決定する事が最重要であると考え、議員活動や議会運営を魅力あるものとして情報発信し、そことの関わり合いが市民の方々にとってプラスになるものだと思われるよう取り組んでまいりたい。